

はじめに

東日本大震災および原発事故から2年が過ぎました。一日も早い復旧・復興をめざし県民一体となって尽力を尽くしているところではありますが、福島県は放射能問題を抱え前途多難な状況が続いております。

こうした中、今年4月には中国で鳥インフルエンザA(H7N9)のヒトへの感染が確認されました。現在のところ、ヒトからヒトへ持続的に感染した事例は確認されていませんが、今後も注意は必要です。また、年初めにはノロウイルスの遺伝子型GⅡ/4変異株が流行し、重症例が相次ぎました。

こうした問題に対して、当所では、県民の方々の安全・安心を確保するため、放射能検査や残留農薬検査、食中毒検査や食品添加物検査、ウイルスや細菌の調査研究など、様々な業務に日々励んでおります。また、感染症情報の収集・解析をおこない、情報提供することで感染症の予防に努めております。今後とも復興への一役が担えるよう、所員一同研鑽を続けていく所存です。

ここに平成24年度の業務実績を「福島県衛生研究所年報第30号」として取りまとめました。内容をご覧いただき、ご意見、ご提言を預ければ幸いです。日頃の当所の業務推進に対する関係機関の皆様のご協力に心からの感謝を申し上げますとともに、今後ともご支援を預きますようお願いいたします。

平成26年2月

福島県衛生研究所長 笹原 賢司